

平成30年10月16日(火) 13:05~  
県営大宮球場

第8回関東選手権大会  
1回戦

VS 東京ガス

初回、打線がいきなり火を吹く！1番・新城の四球、2番・大東のバンとエラーで無死2、3塁とすると3番・佐藤のタイムリーヒットで1点を先制。なお4番・大野の送りバントで1死2、3塁とすると相手投手の暴投、5番・道端のタイムリーヒットで2点を追加する！  
さらに6番・小川がヒットでつなぐと、6番・泉澤がレフトへの3ランホームラン！この回打者一巡の猛攻で6点を先制する！

打線の勢いは2回も止まらない。2番・大東の2塁打、3番・佐藤のヒットでチャンスを作ると、6番・道端にタイムリー2塁打が飛び出しこの回も2点を追加する！

後半に入った6回、3番・佐藤、5番・道端のヒットで2死1、2塁とすると、6番・小川のライトへのタイムリーヒットで1点を追加、9点差に広げる！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	計
明治安田生命	安打	5	3	0	1	0	3	0	12
	得点	6	2	0	0	0	1	0	9
東京ガス	安打	0	0	0	0	0	0	0	0
	安打	0	1	1	2	2	1	0	7

先発の玉熊は初回、2死から四球を出すが無失点に抑える無難な立ちがり。  
続く2回も2死から2塁打を打たれてピンチとなるがここも無失点に抑える。

4回、玉熊は2本のヒットと四球で1死満塁の大ピンチを迎えるが、後続を内野フライ2本に打ち取って無失点ピッチングを続ける。

玉熊は5回、2本のヒットと四球で再び1死満塁のピンチを招くが、ファースト正面のライナー、内野フライでこの回も無失点に抑える。  
6回まで毎回走者を出していた玉熊だったが、7回は三者凡退に抑えて試合終了、9-0でコールド勝ちを収めた。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁						
1	4	新城	新宿支社	3	2	0									1	0.000
	4	島田	八王子支社	2	2	0										0.000
2	5	大東	浦和支社	4	3	2	1	1					1		0.667	
3	7	佐藤	所沢支社	4	3	3	3				1		1		1.000	
4	3	大野	池袋支社	4	2	0							1	1	0.000	
5	2	道端	丸の内支社	4	4	3	2	1			3					0.750
	R	木田	所沢支社	0	0	0										#DIV/0!
	2	尾嶋	広域組織法人部	0	0	0										#DIV/0!
6	DH	小川	町田支社	4	3	2	2				1			1	0.667	
7	9	泉澤	武蔵野支社	4	3	1				1	3			1	0.333	
8	6	吉田	総合法人第五部	4	3	0							1		0.000	
9	8	手鏡	総合法人第三部	4	4	1	1								0.250	
計				37	29	12	9	2	0	1	8	0	4	4		0.414

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	玉熊	千代田支社	○	7	31	115	7	3	3	0	0	0.00
計				7	31	•	7	3	3	0	0	0.00